

第五回

ちかの会

赤塚

MOTOMEZUKA

浦田保親



能
土蜘蛛
浦田親良

平成30年 7月 14日 (土) 午後1時開演 (開場12時半)

於 京都観世会館 (京都市左京区岡崎円勝寺町44)

【お問い合わせ・主催】 ちかの会

TEL/FAX
Mail
URL

(075)-723-7764
info@urachika.com
http://www.urachika.com/

京都観世会館 TEL

(075)-771-6114
URL <http://www.kyoto-kanze.jp/>

第五回 ちかの会

午後一時開演

おはなし「本日のみどころ」

京都府立大学教授 山崎 福之

能

菜摘女 深野 貴彦

菜摘女 林 宗一郎

菟名日処女 浦田 保親

求 塚

從 僧 廣谷 和夫

旅 僧 福王 茂十郎

從 僧 福王 知登

間 所の者 茂山 逸平

山本 哲也 前川 光長
曾和 鼓堂 杉 市和

(後見) 武富 康之
深野 新次郎

赤松 禎友

(地謡)

河村 浩太郎 越賀 隆之
大江 泰正 杉浦 豊彦
大江 信行 大槻 文藏
片山 伸吾 浦田 保浩

— 休 憩 —

仕舞

笠之段 浦田 保浩

鶉之段 大槻 文藏

(地謡)

樹下 千慧 越賀 隆之
杉浦 豊彦 武富 康之

ご挨拶

いつも何かとご後援賜り、誠に有難うございます。お陰様で「ちかの会能楽公演」も、今回で五回目を数えることになりました。これを機に大曲「求塚」に挑戦させて頂きます。

わが身の存在ゆえにふたりの男性と板挟みになった一人の女性。生きること、堪えかね身を投げた彼女を待ち受けていたのは……

死してなお続く苦患の日々。選びえぬ故に苦しむ主人公・菟名日処女の念をどう演ずるか。課題満載ですが、屈指の名曲への挑戦をどうぞお見守りください。

長男・親良には、ご存知「土蜘蛛」の能を勤めさせます。ご共演諸役を若い方々にお願ひし、若さ溢れる舞台をみせてくれればと思っております。

もちろん今回も人間国宝・大槻文藏先生にご来演頂き、求塚のお地頭と仕舞にてお力添え賜ります。

祇園祭直前の暑さ厳しき折かとは存じますが、我々親子の挑戦をご高覧賜りたく、皆々様のご来場を心よりお待ちしております。

浦田 保親

附子

狂言

太郎冠者 茂山 竜正
次郎冠者 茂山 虎真

主人 茂山千五郎 (後見) 井口 竜也

休憩

能

源 頼光 大槻 裕一

頼光の従者 武富晶太郎

胡蝶 深野 和奏

僧 土蜘蛛の精魂 浦田 親良

土蜘蛛

従者 有松 遼一

独武者 原 陸

従者 岡 充

間 下人 茂山 慶和

(後見)

樹下 千慧
大江 信行

(地謡)

河村 紀仁 河村 浩太郎
河村 春奈 深野 貴彦
山崎 浩之 林 宗一郎
田中 隆夫 大江 泰正

山本 寿弥 前川 光範
成田 奏 杉 信太郎

あらすじ

○求塚

西国から都へ上る僧が途中、摂津国(兵庫県)生田の里で菜摘みの娘たちに土地のいわれや求塚のことをたずねるが、そっけない返事をしている。僧は一人の娘が残って僧を求塚へ案内し、その塚のいわれを語る。むかし菟名日処女(うないおとめ)という娘が二人の男からの求婚に迷い、生田川のおしどりを射て競わせたが決着が付かなかった。悩みぬいた処女は生田川に身を投げて死んでしまい、その亡骸を引き上げて求塚とした。そして二人の男たちも刺し違えて、求塚の前で死んでしまった。塚へ案内した娘は、二人を死なせたのは自分の罪だと言つて塚の中へ消えてしまった。僧がその晩塚の前で説経をしていると処女の亡霊が現れ、二人の男の執心や、いたずらにおしどりを殺させた罪で八大地獄で苦しめられているさまを物語るが、僧の説経によってやすらぎを得たように消えていく。

○土蜘蛛

源頼光は近頃病を得て寝込んでしまつて居る。頼光の病床へ薬を持った侍女・胡蝶がやって来て、すっかり気の滅入つてしまつた頼光に励ましの言葉をかけて退出する。そこへ、いつの間に来たのか部屋隅に怪しげな一人の僧が立つていた。頼光が怪しんでいると、僧は「我が背子が来べき宵なりさきかに蜘蛛のふるまひかねてしるしも」という古い和歌を詠んで、蜘蛛の糸を投げかけて攻撃してきた。頼光がとくに枕元にあった刀・膝丸で斬りつけると、たちまち怪僧は消え失せた。騒ぎに気がついて配下の独武者たちが駆けつけると、事の顛末を話して聞かせ、血痕をたどつて化物を退治するよう命令する。独武者たちが血痕をたどつて行くとき古びた塚の中へと続いており、塚を崩してみると中から土蜘蛛の精が現れ、再び蜘蛛の糸を投げかけて攻撃してくる。独武者たちは苦戦するも、最後には土蜘蛛の精を見事斬り伏せたのであった。

能
求塚
浦田保親

塚。その中に埋む執心のものがたり

浦田親良

TSUCHI

土蜘蛛



京都観世会館

京都市左京区岡崎円勝寺町44
地下鉄東山駅にて下車、徒歩7分

京都観世会館東隣に有料駐車場がございます

(満車の場合は平安神宮前の市営有料駐車場をご利用ください)

※ 事務局で許可した以外の方の写真・ビデオ撮影・録音はお断り致します。

※ 場内では携帯電話等の電源はお切りください。

[入場料]

前売指定 7,000円

当日自由 6,000円

前売自由 5,000円

学生自由 2,500円

《Mail 割引》下記アドレスからメールにてお申し込みの方は、前売各券種を特別割引価格にてお求め頂けます！

✉ info@urachika.com

